

### 障害者の権利

障害者の親でも、自分の子はかわいいと思います。五体満足に生まれなくてもいい、といっても社会が受け入れるべきです。健常といわれる人間でも、社会に迷惑をかける人がいます。だから、もっと障害者の人権を同じ扱いにしなければなりません。

人間の人生は、あっという間に終わります。今の社会の考え方では答えができません。

### 土曜開所日

濱田茂雄

5月にいちご狩りしました。いっぱいいちごが甘くておいしかったです。また行きたいです。その後、お昼はケンタッキーを食べました。おいしかったです。その後、ユニクロに行きました。ティーシャツの服を買いました。とっても楽しかったです。

◆兵庫県のナッチャン本  
 60歳の時統合失調症に  
 罹り、なならないと言われ  
 30年、薬のみ、働けるよう  
 になれず、何度か小さな再発  
 が、歳のわりに結婚でき  
 ず、人の子供を育てました。  
 公務員、1人は5年半続  
 け、とか私も午前中だけパ  
 ート、家事もこなしていき  
 ます。お医者さんの薬も飲  
 んでいきます。

困みは、月刊みんなねっと(2018/4月号)※ から転載。  
 ※公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会の機関紙  
 ホームページ <http://www.seishinhoken.jp> みんなねっと

30年前のエチオピア飢饉救済に立ち上がった、企画したハリ・ベラフォンテが91歳で登場する、ドキュメント「We Are The World 奇跡の10時間」(7/3 BS放送)を観て感動した。ポップ・ディラン、スティービー・ワンダー、ダイアナ・ロスら全米のスター歌手が集って作った(マイケル・ジャクソンらが作詞作曲)チャリティーソングの有名な曲、その成功の謎を追う記録だが、何よりアーティストが、飢えにおののく遠くの地の命の救済に連帯して立ち上がった、生々しい様子に改めて胸を打たれた。  
 激雨と猛暑の中、西日本の大きな被害に多くのボランティアがはせ参じている。人は人を救うことができる。心痛む事件にとかく人間不信になりがちだが、「私たちは

編集後記

今年の暑さにはほとんど困るような酷暑。そんな中、先日涼を求めて京都府宇治市にある正寿院の風鈴まつりに行ってきました。少し山の中に入ったところで、市内より夏は5℃ほど涼しいという話も。明るい日差しと蝉の声と澄んだ風鈴の音が合わり、たくさんの方がいる中でも、どこか凜とした空気でも何とも言えない心地いい時間でした。暑い日々はしんどいし、早く秋になってほしいと思う反面、夏だからこその日差しや蝉の声や、お祭りなど、様々な良さに触れ、やっぱり夏はいいものだと思えて感じています。やすらぎ工房のメンバーさんも職員も皆元気にこの夏を過ごし、秋の季節を迎えられたら嬉しいなと思っています。通信を読んでくださっている皆様

### 私の体験

北園純也

私は、やすらぎ工房に通えるまでは、重度の強迫神経症とアトピー性皮膚炎で外出することも困難でした。網膜はくりで計10回程の手術をしました。その為視力も低下し、読み書きは多少不自由ではありますが、工夫と努力とまわりの方の支援のおかげで、3年前から、やすらぎ工房に通えるようになりました。昨年からは施設外の作業にも行けるようになりました。一つ一つ出来る事を増やしていき就労をめざしています。



【太郎のマンガ】



就労継続支援B型事業所  
**やすらぎ工房**

〒673-0521 三木市志染町青山1丁目26番地  
 ☎ 0794(85)9990 FAX 0794(60)4533  
 yasuragi-koubou@maia.eonet.ne.jp

## 孤立を防ぐために ~こころ痛む事件、強制不妊の過ち~

理事長 伊東久雄

### 痛ましい三田事件等から

今年4月三田市で「精神疾患のある長男が16歳頃から暴れるため、父が25年間檻に監禁、そのため片目失明」との事件があった。15年間両親に監禁され一日一食、32歳の体重が19kgで凍死した、精神疾患発症という娘さんの信じられないほど痛ましい2017年寝屋川事件を思い起こした。彼女が一日も登校しなかった中学校や自治体は地域で起きた無残な悲劇に無関心だったと反省した。三田事件の場合は市や社協に父は相談したという。両者は病に無知な家族、助けられなかった地域の問題という点で共通しているように思う。家族の一人として決して他人事とは思われず、極端な例として片づけられない。なぜ、こんな痛ましいことが繰り返されるのだろうか？

こうした家族責任者の「保護放棄犯罪」の真相は裁判を待たなければならないが、ただ、疑えないのは家族が適切な精神疾患治療・支援の情報やつながりから極めて孤立していたことであると考える。今年一月、メイ英首相が「話し相手、考えや経験を共有する相手がいない人が抱える」現代生活の悲しい現実に対処するため「孤独担当相」を新設した。少子高齢化社会は孤独・孤立の現代の病を広げていきそうである。

### 半世紀を経て声を上げた人々

「障害者は不幸、子孫に残すな」という優生思想に基づいて、1948年成立の優生保護法による強制不妊手術のことが報じられる中、初めて実名で76歳男性が「毎日新聞」の取材に応じた。10代後半に診察せずに「精神疾患」の理由で手術され、今も痛みを苦しむという。当時の社会的背景が背景にあったにせよ、超党派の全会一致の議員立法で優生保護法成立、産婦人科・精神科神経の学会も協力、社会も当然のように受け入れたこと、この理不尽な人権侵害に今も声を上げられない人たちが少なくないことに驚く。

98年国連が強制不妊手術の被害者に補償するよう勧告以来、「当時は合法だった」との政府見解で国は被害者の救済に背を向けてきた。しかし、今年ようやく勇気ある訴訟から国、国会の謝罪、損害賠償などの救済の動きが出てきた。私は「長すぎた入院」とのETVドキュメントを連想した。39年精神科病院に入院させられた時男さんが福島原発事故で退院、なぜ退院できなかったかを探求する旅に出て、例えば2000枚のカルテを入手、それには二回だけ幻覚と記され、あとは異常なしで、彼は「人生は取り戻せない」と憤る。――私たちは声を上げようとして上げられない人たちの存在に少しずつ気づいてきている。

### 関心と愛を――

たとえば、「こころの病」の初期は近所迷惑な本人の言動に、周囲の目に怯えてオロオロするばかり、本人の心情に寄り添えるゆとりをなくしてしまう。家族はもちろん、近所・行政・学校等の人たちが病について少しの関心と知識があれば――そして支援者につながればと切に思う。声を上げようとして、声を上げられない人たちに関心と愛を持ち続けたい(18.5.22記)。





# 精神疾患の本人・家族・支援者が全国から兵庫大会へ

県政150周年記念の兵庫県が協賛する、“みんなねっと兵庫大会”が開催されます。これは／公益社団法人全国精神保健福祉連合会(みんなねっと)／公益社団法人兵庫県精神福祉家族会連合会(兵家連)／が主催します。

**第1日:** 愛知県立大学准教授 山田浩雅氏<「精神疾患を正しく理解するための教育の必要性について」~なぜ日本では精神疾患の教育が進まないのか、世界はどうか~>等の講演と懇談会があります。

**第2日:** 6分科会で「病から回復を支える授業」/「当事者の力」/「新しい治療」/「家族支援」/「就労支援」/「閉じこもっている本人と家族の役割」/等のテーマで学び合います。

厚労省の2016年度調査では、全国の障害者は約860万人(精神障害者約392万人、~医療機関を利用した精神疾患患者数から算出、一過性の精神疾患のための生きづらさをかかえる者も含まれている可能性がある~。身体障害者約394万人、知的障害者約74万人)、国民の6.7%、その家族を含めると障害とつながる人々はすぐそばにいます。高齢化社会、誰でも歳とともに、何かの障害・病とつきあうこととなります。「こころの病」についての、上記の稀有な機会は、その貴重な情報、人とのふれあいを提供します。(伊東記)

参加費 **3,000円** 障害者 **500円**  
学生 **1,000円** (高校生以下は無料)

事務局: 兵家連 ☎ 078-891-3871  
HP **ひょうかれん**

-----<主催>-----

公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会 (みんなねっと)  
公益社団法人 兵庫県精神福祉家族会連合会 (ひょうかれん)

(兵庫大会のチラシの一部)  
絵/伊東久雄(家族)作



「NPO法人そよかぜねっと」HPで閲覧できます。検索

## 新たな発見

新理事 八木大策

私は、児童施設の指導員としてスタートし、20年以上福祉の仕事に携わってきましたが、立場は変わっても、福祉の向上に少しでも寄与できればという思いを持ちながら現在も仕事をしています。また、様々な業務や立場を経験する度に、新たな発見をすることができて感じています。

「三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘」在職中(平成21年~27年)は、「やすらぎ工房」のメンバーさんや職員の皆様方には大変お世話になりました。この度、理事就任のお話をいただいた時は、現職が事務職であり、大役が務まるか悩みましたが、これまでお世話になったこと、自分自身が経験をしたことがない役割を担うことが新たな発見につながると思い、お引き受けすることにいたしました。

まだまだ未熟ではありますが、これまでの経験が少しでもお役に立てればと思っています。社会福祉事業は一人でできることではありません。役職員、メンバー、ご家族、関係機関が丸となってはじめて進むことだと思っておりますので、どうぞ皆様よろしくお願いたします。

## 役員改選期

### 平成30年度通常総会開催

6月25日(月)やすらぎ工房において、正会員16名(内委任状4名)が出席して通常総会が開催されました。平成29年度事業報告・収支決算報告と業務・会計監査報告が承認され、平成30年度事業計画・収支予算等の報告がありました。

今回は役員改選期にあたり、理事6名・監事2名が選任され次のとおり就任しました。

理事長 伊東 久雄 監事 小河 善則  
副理事長 新銀 茂 監事 竹内 省三  
理事 日崎 廣司  
理事 北上亜矢子  
理事 片山 操代  
理事 八木 大策  
八木大策氏は、社会福祉法人ゆたか会(加西市)の事務課長

## お役に立ちたい

新職員 伊藤隆介

一日でも早く皆様のお役に立てるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

ホームページは「やすらぎ工房三木」が楽です。検索

# 就労支援の現場から

施設長 北上亜矢子

平成30年4月から、障害者雇用義務の対象として精神障害者が加わりました(それまでは、知的と身体障害者)。これに伴い、民間企業の法定雇用率は、従来の2.0%から2.2%に引き上げられた(国、地方公共団体等は2.3%⇒2.5%など)。やすらぎ工房からは毎年1~2名が就労し、やすらぎ工房を卒業している。

就労することは目標達成ではなく、新たな環境のスタートといえる。緊張しながらスタートを切り、少しずつ環境・仕事にも慣れていくなかで定着することの難しさも痛感するようになった。病状に波があったり、環境の変化に敏感であったりと、それぞれの特性により悩みは様々だが、働きづらさを感じてしまうことが一つの要因として考えられる。

継続している人と離職した人とにある違いは何だろう...と考えた時に、「自分の思いを伝えられているか・困ったことや不安なことを相談できているか」は大きいと感じる。自分の思いを伝えることに「遠慮」している節があるのではないだろうか。

平成30年4月より就労定着支援事業という新たな制

年度	業種・事業所	継続(30/6まで)
27	男性(35)・食品加工	・39ヵ月 継続
28	男性(44)・総合隣保館	・23ヵ月 継続
	男性(30)・ピッキング作業	・離職(7ヵ月)
	女性(25)・弁当チェーン	・離職(6ヵ月)
29	男性(48)・ゴム製品加工	・11ヵ月 継続
	男性(46)・園芸用品加工	・9ヵ月 継続
	女性(20)・病院内保育補助	・トライアル終了(3ヵ月)

度がスタートした。困ったこと、不安なことを「これくらいは言わなくてもいいかな」と遠慮したり、我慢が重なることでしんどさにつながってしまう。支援者が間に入り、関係性を見直す中で伝えることの大切さを、本人と会社で少しずつ共有しお互いに話し合える関係に持っていけると素晴らしいと思う。また、仕事の課題だけでなく、生活リズム・体調管理面の支援もポイントとなっている。生活が乱れる、体調が崩れることになれば仕事に大きな影響を与えることになるからである。

始まったばかりの事業の為、今後ニーズにより変化していくと考えられるが、就労し頑張っている人の後ろからバックアップすることで継続した就労につながっていけば嬉しく思う。

やすらぎ工房は近く、就労定着支援事業の準備に入りたいと考えている所である。

## ~就労継続支援B型事業・第9年度~

◆年間253日開所、4,868人が利用  
(1日平均利用:19.2人) 前年比▲0.5人

◆利用者の工賃平均は 11,285円/月  
・年額 276千円~610円(最高~最低)

◆24万円 2F室内修復助成金を収受  
~長谷川福祉会様から~

◆46万円の町づくり購入助成金を収受  
~神戸やまぶき財団様から~

利用者	年齢	20~	30~	40~	50~	60~	
◆利用契約人数	27人	0	5	6	10	4	2
(30.3.31現在)	男女	障害者年令	無	3級	2級	1級	
	25/2		10	1	13	3	

◆通所者延人数(年)	4,868人	◆1日平均通所者	192人★
◆開所日数	253日*	◆送迎利用延人数	4,465人
		(1日平均 17.6人)	

職員	3月末
◆常勤職員	6
◆パート職員	1

ボランティアさん	人数
◆ボランティア(4)グループ	5人
	91人/延

アクセス	距離	徒歩	バス
神鉄緑が丘 - 工房	2.1 km	30分	
神鉄緑が丘 - 公民館前	1.4 km	5分	150円
緑が丘公民館前 - 工房	0.7 km	10分	

保有不動産	内容	取得
◆ 居宅	73.99㎡(木造瓦葺平屋建)	(21年12月)
◆ 土地	247.99㎡	

施設概要	1F	2F
(旧緑が丘ガス事業所管理棟)	作業室 61.8㎡	
	多目的室(玄関) 30.9㎡	
◆敷地面積 967.97㎡	休憩・談話室 14.1㎡	
◆建物面積 190.85㎡	湯沸し室 4.6㎡	
	物入(外部) 5.3㎡	
~屋内階段なし~ チョット不便・非効率	トイレ ○(大2,小1)	○
	DK	8帖
	事務室	6帖(和室)
	和室	6帖/4.5帖
	洗面スペース	2.7㎡

利用者工賃	人数	年額
◆ 工賃支払い人数(平均)	26人/回	276,050円 ~ 610円 (最高~最低)
◆ 工賃・ボーナス総額(平均)	11,285円/月	251,140円 ~ 550円 (最高~最低)
工賃平均(月)	10,091円・34人	
ボーナス平均(年2回)	7,555円・26人	23,290円 ~ 60円 (最高~最低)
◆ 工賃支給総額(年)	350万円	

職員給料	金額
⇒ ◆ 給料・通勤手当・賞与	1678万円
⇒ ◆ 給料・通勤手当・賞与	168万円
	1,846万円
退職給付費用	24万円

収入	金額
◆ 通所手当	6.2万円
◆ 社会保険	2.34万円 含む

数字で見る『やすらぎ工房』	29年度実績による
① 土地	999万円
② 車両	104万円
建物	190万円
備品	32万円
建物付属	92万円
合計	1,189万円

収入	金額
◆ 訓練等給付金	3,981万円
◆ 会費収入	7万円
◆ 寄付金・助成金等	72万円
◆ 負担金収入・雑収入等	198万円
◆ 作業収入	348万円
◆ 内職費収入等	337万円
◆ パザー売上	11万円

支出	金額
◆ 給料・賞与・手当等	1,871万円
◆ 社会保険料	272万円
◆ 光熱費・通信・旅費等	82万円
◆ 事務機等使用料・備品	126万円
◆ 修繕・消耗品・委託費等	272万円
◆ 給食費・保険・その他	308万円
◆ 減価償却費	101万円
◆ 支払工賃(メンバー給料)	350万円
◆ 作業材料費等	6万円
◆ 地代家賃	0万円

別棟	面積
喫煙ハウス	6.7㎡
スチール物置	9.4㎡
町ハウス	2.9㎡
	3.9㎡

三木市からの無償使用貸借恵まれています。

以前は日常的に「給料」と呼ぶ...、給料とは云えない/ざれど給料(?)最近では「工賃」が定着してきた。

26人前後/月、日の事務処理を行う。支払対象<34>人/年

通所者が作業で得た収入から支払う。

給付金の47%相当額

神戸やまぶき財団様からログハウス助成金46万円を収受。長谷川福祉会様から2F室内修繕費助成金24万円を収受。三木市社協様から助成金1.5万円を収受